いわき民報

發行所
いわき民報社
[illegible]
編輯兼發行人 印刷人 [illegible]
日刊（日曜日を除く）
定價 一ヶ月[illegible]圓 一部三十錢

縣下最初の街頭錄音

二十三日平郵便局前で實施

課題は石炭增産隘路を衝く

日本再建は産業の復興から、産業の復興は石炭からといはれながらも坑木その他の資材面やら、資金面、勞働問題安定の未解決等々から依然危機の解消をみず輸送難等はいよ〳〵深刻の度を加えつゝある現狀にある、政府始め監督指導方面はもちろん經營者、勞組とも夫々增産の隘路打開には躍氣の努力を重ねているが、これら當事者の氣付がないところにも何か隘路がひそんでいるのではあるまいか萬一ありとすれば一般の意見を聽取、參考に資する事こそきん要事であるとして東京中央放送局平出張所では來る二十三日午後一時から二時まで一時間平郵便局前に移動マイクを据え「石炭增産の隘路について」との課題の下に炭鑛當事者を始め一般市民の忌憚ない意見を需めて街頭錄音を行ひ、これを街頭錄音の時間に全國放送して參考に供することに決つた、縣内での街頭錄音は最初のものである平放送所では大いに常磐炭田の中心地平の意氣を示續々名意見を吐いて欲しい、と希望している、なお當日は常磐炭鑛始め各鑛經營者方面及び勞組代理連も特に參加することになつている

醫藥用、化學用
其他硝子製品一式
新星硝子工業株式會社
平市佃町
電七一四番

第二區に編入

農委選期日又延期

地區も全縣二區に

縣農地い員選擧はまた〳〵來二十五日に延期されると共に選擧區制も變更從來四區制であつたものが二區制に統轄された定員は兩區とも小作五名自作三名地主二名であつた、第三區であつた市郡は安積岩瀬、西白河、石川、田村、双葉、相馬の各郡及び郡山市と共に合して第二區にのることゝなつた、從つて各候補とも運動の手を一躍倍以上に擴大しなければならぬのでいづれも轉手古舞の有樣で俄かに作戰の立直しや方針の變改で大童である

平市の有權者

男六千七百八十名

女が千五百名多い

地方選擧を間近に控え平市の選擧管理い員會では連日資格審査い員會や名簿の作製等に忙殺されているい員會の調査では今回の選擧における市の有權者は一萬五千百二十七人男六千七百八十人女八千三百四十二人投票所は町内會の數を勘案三十六區位にする豫定である

日本畫家協會支部

中西一路氏が連絡責任者に

日本畫家の福利厚生をはかると共に資材の斡旋等のため今度日本畫家協會縣支部が結成されることになつた中通り、會津方部、濱通り及び肖像畫部の四部に分け各方部に夫々連絡責任者を設置したが濱通り方部は磐女中西一路畫伯が推薦された

引揚者の實態調査

海外同胞引揚者磐城連盟では寄る所なき引揚者の救濟及び引揚者えの配給物資の適正均衡をはかるため今度各區内會の協力を求めて引揚者の實態調査を開始する事に十三日決つた

取締班を編成

ガソリン消費規正取締りに

平署では十三日を期し

の使用をみとめている自動車以外これを使用した場合斷乎たる處置を講ずることになり署員をした取締はんを編成通行中の自動車取締りをはじめ隨時車庫營業所等を臨檢正規ルート以外ガソリンを入手した場合隱とく者究明にものり出すことになつた

三小委員會を

會長は櫛田三郎氏

郡教育審議會成る

郡教育審議會では委員の顔合せを兼ね初い員會を去る十日地方事務所に開いた結果、會長に好間第一校教頭で郡教組支部長櫛田三郎氏を副會長に一般代表の内郷町助役沼田一夫氏を推し、櫛田會長から縣審議會の經過を報告郡審議會は三小い員會に左の如く分類し各い員會の役員は會長から追つて指名することに決つた

◎第一小い員會（待遇改善等の諸問題分担）◎第二小い員會（學制々度）◎第三小い員會（その他一般教育問題）

急求
女子作業員數名
棒炭工場
近納信義商店
平市才槌小路三三
營業所 平市六間門七
電九四二番

縣内工場を網羅

マル炭問題懇談會を

平商工會議所いよ〳〵乘出す

平商工かい議所では去る十一日郡山かい議所に開かれた四市商工かい議所の連絡協議かいの席上に於いて各炭鑛の丸炭確保問題がきん急重要案件として論議され現在の丸炭は五千トンに達しているが大部分山元の增炭用資材確保の面に振り向けられていて縣內工場えの配給は五百トンに過ぎない現狀であるこれは遺憾千萬であるから縣內工場の復興促進のために丸炭の大部分を縣內工場えの割當用として確保の途を講ずることにせねばならないとされたので常磐炭田の中心にある立場からこれが解決に當つては全力を注ぐべく近く縣內各工場との懇談かいを開催この結果に基いて炭鑛及び炭鑛勞組その他縣及び鑛業連盟鑛業かい等々と早急に打〇解決に乘り出すことに決つた

內郷の小火

十三日午前七時三十分頃內郷町小島木材商四倉青一さん（五六）方台所から發火、屋根一坪を燒いたのみで消しとめた、原因煙突の加熱から、なお平署では[illegible]かけ火の元用心を要求している

判定資料のみ

勝敗即決定に非ず

舊玉川の分村投票

小名濱町では舊玉川村の分村可否投票問題について分村派は十五日けの投票で一票でも分村派が多ければ即時分村され得るものとの見解をもつて動いているが去る四日付縣內政部長からえの示達中には左の如くで、たゞ分村陳情によりこの際舊玉川村民の總意の歸趨を判定する資料として行うもので、勝敗が分村の唯一の目標でないことを示している點を指摘し一般町民の誤解のないよう十三日啓蒙運動に乘出した

この投票によつて直に分村を決めるのではなく各部落〳〵の總意をとりまとめ判定するだけの事です（后略）

なお投票用紙には下部左書で部落名がありその上に右側に現在通、左側に分村の文字が夫々記入されており、投票に際し現狀を希望するものは現在通の上に又分村希望者は分村の上に丸印をつけてへればよい極めて簡單な新様式によるものである

オーバー洋服類を

月見町の泥的

市內月見町無職四家張手さん方では十二夜オーバーその他洋服類等十一點を盜まれた

平市常會

市常會は二十五日午後一時から公會堂日本間に開催する

長はしに煙草どろ

きんし千八百本とみのり五百個盜む

市內長橋町荒物雜貨商蛭田利光さん方では十日夜半のり三十帖、みのり四百九十九個、きんし千八百本も盜まれた

老母自殺

市內四軒町大工職長倉勝男（[illegible]七）母しん（六七）は喘息を苦にして十日朝八時自宅で日本カミソリでのどを突いて自殺した

急募
女給仕さん 若干名
ほていや
小名濱町下町
電話三三二番

家出女房死体發見

既報病苦等から精神異狀を來し三男正義君（一〇）にねづみとりアンツーをのませたまゝ去月朝家出した市內古鍛冶町大塚末吉さんの妻かめよさん（四二）は十日午後三時神谷村大字鎌田字岸の夏井川に投身自殺しているのを發見された

外科 諸橋鐵彌
內科 松本源一
金成醫院
平市鎌田町
電八二六番

電氣の正しい使ひ方の運動に關する御知らせ

昨秋以來電力事情は其の生產と消費とが均衡を失ひあまつさへ渴水の爲水力による發電力は減退し火力發電所も戰災を蒙つたり賠償の對象となり又々石炭の獲得が意の如く參りませんので電力不足は其の極に達して居ります。

其の上二月ともなれば寒さの爲河川の水が著しく減つて發電力は不足のどん底に達するのであります。

之が爲に現在既に吾々は電燈や電力の使用制限をされて居りますものゝ實際には其のこう果が充分上つてないと云ふ事ですそんな事ではどうしても此の危機が切拔けられないと云ふので停電制限と云ふ方法即ち電燈や電力線を一定の時間發電所で停めるより外に方法はないと云ふことです。

去年中から關東では一日隔きに關西では四日に三日の停電も實施されて居ります。今でも電燈が暗い、ラヂオは聞えない、停電も多い其の上關東關西の樣に一日隔きに停電される樣なことがあつては其の不便迷わくは並々ならぬことは申すまでもありません。

日本發送電や東北配電でも色々と方途は講じている樣ですが此のまゝでは停電制限以外には方法がなくなり二月一日から東北全般に實施された樣な悲しい狀態です、そこで客年末國民大衆の盛上る力により電力消費の各階各層から送られた代表者によつて設立された本かいては目前に迫る停電制限の打開策として日發配電に要求の上社員を動員して近く各需用家を戶別に訪問し電氣の便ひ方を見せて頂き現在の消費制限狀況を調査し實效擧げると共に左記の樣な諸點を解消せる事により消費電力を減少しそして停電制限などは實施されないで濟む樣にしたい從來の樣なかい社から檢査されると云樣な事でなく飽迄も吾々需用家の自覺により互に啓蒙自肅し合う建前で積極的建設的にやる此の運動に共鳴されて實績の上る樣に御協力の程御願ひ致します

追而此の記事を讀まれた左記の點を特に近處へ吹聽宣傳して戴き隣組に[illegible]不合理、無だな電氣の使用者が一人もない樣に御協力下さる樣重ねてお願ひします

一、[illegible]を受けないで使つている電熱器電燈はないか
二、不要[illegible]してはいないか
[illegible]其他の[illegible]で不合理な使ひ方をしているものはないか
三、[illegible]、モーターの清掃勵行、ベアリングの注油勵行、[illegible]の狂い直し、不要プーリーの取外しベルトのた[illegible]曲り直し等

昭和二十二[illegible]

福島縣民主電力協議會

いわき寸言

□石炭增産の隘路打開の一助にと中央放送局が平局前で縣初の街頭錄音により一般の衆知をあつめる

□市の紹介にもなり常磐炭田の中心地平の名を全國に知らせるのに絶好の機會だ

□このチャンスを逸せず大いに市郡民の頭のよいところも全國民に知らせるよう祈る

□平商工會議所がマル炭確保問題で縣內の各工場と網羅懇談會を開いて解決に立つ

□產業福島の再建の上からも極めて重要[illegible]であるかい議所の全面的努力を望むや切なものがある

□野菜の自給計劃樹立さるこの計劃通りにいけばしめたもの〵實現を是非希う

□平市の有權者相變らず女が二千名近くも多い、空つ風と何とやらいふがまつたく御婦人天下の平ではある

□長橋で煙草大量に盜まる煙草ずき大の深刻さを物語るものか

各種繪畫は
額緣の御用
繪と額の店
菊水美店
平市六丁目四
電話九八九番

謝禮金二千圓也
足を盜まれました、足とは何か—
それは 自轉車 です
●特長●
宮田製中古自轉車 附屬品も宮田製
タイヤ中製ブリヂストン新品
荷掛けに書類包の風呂敷つき、七日夕盜難
發見下されし方に右謝禮贈呈
平市搔小路二五
萩原金庫商會

花にさきかけ

日本再建産業復興博

總工費八十萬圓で新川畔に

引揚者の救濟及び失業對策は産業の復興にありとして引揚者磐城連盟と平驛前伊東一氏の伊東興行部では協力提携の上、物心兩方面から復興意欲をあふり祖國再建に拍車をかけるため花の四月一日から五月十日まで四十日間の會期で新川畔に日本再建産業復興博覽會を開催戰後の復興及び日本民主化の資料等を廣く集めることに決定、早くも諸準備を急いでいる。會場は本館の外に余興場、子供の國、演藝館、遊戯場、スケート場、ダンスホール、ゴルフ場など總工資八十萬圓で設ける計畫、設計には平市の鈴木工務店が當ることになつた

町內會の廢止を聽く

證明事務等は市町村役場え

行政の未端機關といわれた町內會、部落かいの廢止の時期はとりあえず年度變りの三月末日と決まつたこの切り替えに當つていま町內かい、部落かいで取扱つている證明その他の事務は市町村役場に引繼ぎ、町內かい長を除く事務員は吏員に採用しそのまゝ駐在員としていまゝでの事務を行わせその經費は町かい費に代つて市町村稅として徴收する案も考へられている

廢止後の措置

未決定が思案の種

部落かい、町內かいを廢止すると云ふ政府の方針が發表されたが、これに伴う具體方策が發表されないため市町村當局をまごつかせている、市町村民はもちろん物資配給やその他の關係から町內かい、部落かい廢止後直接生活に及ぼす事務がどう行われるか思案している市內の現町內かい長及びその他關係者にこれに對する意見をきくと左の通りである

廢止も結構

市役所振興課　柳沼寶氏の談

現在の町內かいを廢止して昔のように自主的な親睦かい組織にするのはよいのであるまいか、配給物のことや市役所などとの連絡は各區囑託員などがあるし物資受配などは申し合せの隣組などがある、また消費組合などの活躍が活潑化し一般家庭にとつてはかへつてよいかもしらない市の場合三十六區に一區一人の囑託員設置も大工町の如き僅か四、五十戸の世帶と舊城跡の如き三百戸を抱える大世帶とは意味も異り從つて囑託員の問題も惱みの種ではあるまいか

割切れぬ廢止理由

田町副區內會長　森川泰一郎氏談

代る親睦かいの誕生によつてかへて組內員の親ほくがはかられるとおもふ、しかし是に代るものとして市役所の囑託を各區におくことは民意を壓迫する結果ではあるまいか、田町區でも消費組合設置が決定しており、公職追放をめぐつて立候補者の資格審査が不可能だというのが廢止理由の原因だとしたら割れ切れないものがあるのではあるまいか、政府の大きな責任である

行政配給面に管理委員會を

磐城民主婦人連盟　原やつ委員長

最近のように官廳の手足になつておるものならいらないとおもふ現在までの區長はあまりにも獨占的であり代るものとして親睦かいが生れるとすれば行政配給の兩面に各管理委員かいをつくりいまゝでの惡へい一掃につとめる樣切望する、此際婦人を度外視せず親睦かいのい員に擧げることも考へるべきだ

親睦會が生れるか

現在の仕事と云へば行政未端事務と配給品分配の二つで全くお役所の給仕役のやうなものだそれでいながら資格審査云々などで廢止などゝはうなづけないものがある、この機構を廢止すれば代る親睦かいなるものが生れるとおもふが配給關係やその他實情はどうなるか

常磐交通 家族慰安

常磐交通株式會社では從業員並に家族慰安のため十七日午後六時から市公會堂日木間に從業員演藝大會を開くがすみれ樂園一行も特別出演さる

荷物制限强化

制限超過はお斷り 三月末まで續ける

三月末日まで

平驛では列車內の混雜と輸送力增强の目的をもつて車內持込荷物の制限を强化することに決定、實施方法を左の如く決めた

◈發驛―制限超過のものは全部改札口でお斷りしますから規定通り荷造りを改めていたゞきたい

◈途中驛―旅行中に發見したものは途中驛に取卸の上前記の手續きをとつていたゞきます、小荷物運賃を徴收の上、それから先の持込を許可しませんからこれも規定通り手直しをさせられます

◈制限方法―一個の大きさは一尺一寸立方以內で目方は四貫匁二個までは差支へありません

◈實施期間―右の制限后も取締る方針です

▲準備期間―二月九日から十五日まで

▲本期間―十六日から

紀元節 表彰

榮えの市郡被表彰關係

恒例の十一日紀元節に行われた善行者を始め各種功勞者永年勤續者の縣表彰式に表彰された郡市關係者は左の通り

●徴稅事務功勞者夏井村收入役大和田喜

●知事感謝狀平工業協和會長平清房、堀江工業社長鈴木唯治

●勤續警察官平間惣治（平）阿部寛（全）大貫由一（植田）

●社會事業功勞者內郷町田口じん三

●農林大臣推奬狀夏井村書記木田甚吾

◎美人女給◎
カフェー
殿堂
マツバ
宴會に御利用下さい
小名濱町濱町
◎至急入用◎

〈家庭讀本〉

万難排し實施

六三三新義務教育 當局の態度を聽く

教育刷新委員會で先に學校制度の根幹を六年（小學校）三年（新制中學校）三年（新制高等學校）四年（新制大學。として高等學校四年でも五年でもよく、又大學三年或は五年でもいい、さらに大學の上に大學院又は研究所を設けることに決定したがこの學校制度改革は閣議を經、議會の通過をまつて正式決定する筈である、しかしまだ六、三制について疑義を抱いている向もあるので當局では態度を次の樣明らかにした

共學成るべく

無月謝制度で地域制を採用

六、三の義務教育は萬難を排しても四月（二十二年度）から實施し新制高等學校は二十三年度から、新制大學は二十四年度から順次轉換實施する準備を進めている、新制中學は趣旨としては公立學校で三年無月謝制度地城制をとり、なるべく男女共學とする、現在財政資材その他の窮乏で一學年を完全實施することは不可能だから徐々に實施する

義務制は一年のみ

新制中學校は二十二度には一應制度として三箇年の新制中學を造るが義務制の實施は第一學年だけとする、この第一學年への入學は從來のような選拔試驗は行わない方針である、なお各府縣の生徒收容數は二十二年度は一定の限度があるがこの目標以上に實施出來る場合はけして差支えない

市の就學兒童

八百六十四名 校舍が惱の種

六、三制實施初の四月の新入兒童數はどの位あるか、市では先般來調査中のところこの程漸くまとまつたが右によると八百六十四名でその內譯は左の通りとなつている、なほ復興工事を急いでいるものゝ資材搬出難やら勞力面から第一國民校の竣工は間に合ひかねるのではないかともみられているので、萬一間に合はない時は現在通り第三校その他での二部教授を實施しなければならず、各校とも學級問題で相當のなやみを感じている、市が果してどんな手を打つか注目される

▲第一校、男一五四、女一四六、▲第二校男八九、女九二、▲第三校　男一五五、女一五三　▲第四校男三六、女三九

いわき詩壇

詩　旅の手帳

野崎一彦

朝あけおそく
日暮れのはやい
いわきのくに　永戸村
といふところ
川はひとすじ　谷間をめぐり
小石を洗つて流れてゐた
軒につるした菅笠や
ひろい土間の片隅に
ひつそりねむる吊洋燈
いく百年の傳承秘めて
家家は
桐の木のやうにしづかだつた

炭燒くけむり立ちこめる
山のむかふに山があり
朝あけおそく
日暮れのはやい
いわきのくに　永戸村
といふところ
冬にははやい日暮れの
風が
せうせうと
旅人の衣にさむかつた

●高價買入●
古衣類◇書畫◇骨董
古道具一式其他
御希望の方は米通又は金通及び印かんを御持參の事
相田仲治
湯本町上町成田山下

銀座街の
阿（ア）康（コウ）へ
家庭醫藥品の御用は…
平市田町
電44番

萬年筆大量入荷、
平市
電二九九

現像に
焼付に
材料の
御用命
も願ひます

各種ミシンの
販賣と修理
平警察署前通り
三浦商會ミシン部
電八六四番

福島縣指定產業重點工場
平硝子製作所
平木工株式會社
社長　佐藤幸太郎
專務取締役　足助重雄
本社　平市新田町二六
電七。四五五。七七二。
東京事務所　東京都芝區新橋
二ノ三八（鳥森ビル）
電五七・四八三一
工場電話　二九二。七三
三八九。八三。三五五